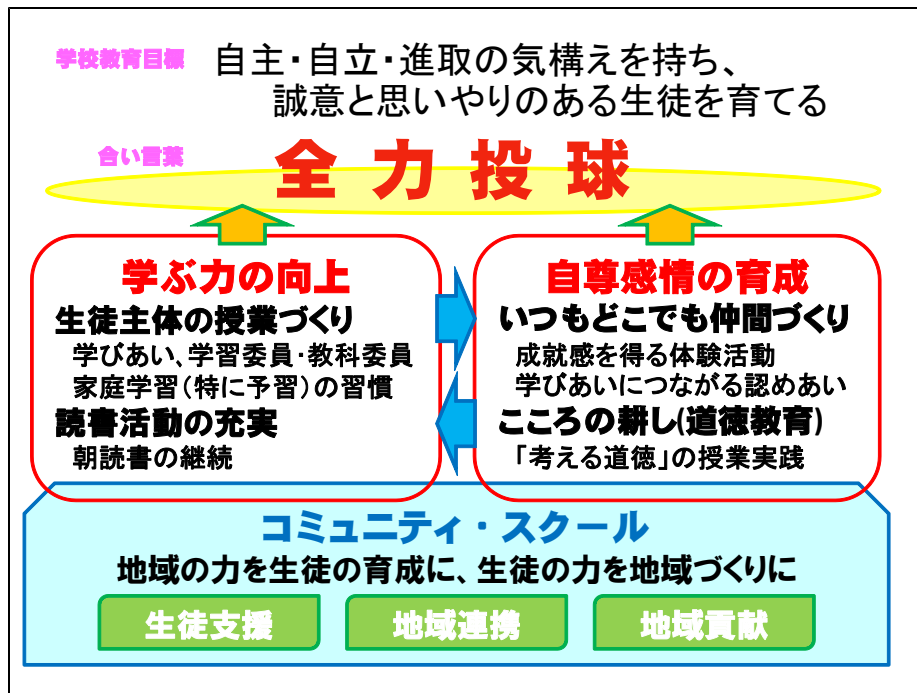




学校教育目標

「自主・自立・進取の気構え」は、体育館の前面に掲示されている、卒業生のみなさんにとっては懐かしい言葉です。これらの言葉は、石部中の合い言葉である「全力投球」とともに、「不易流行」の「不易」を担ってきましたが、今日の教育改革の中で改めて脚光を浴びているように思います。

この言葉を学校教育目標に据えること、右の構造図のような内容で今年度の石



部中教育を進めていくことを、19日夜に開催された「石部中学校学校運営協議会第1回理事会」で承認していただきました。このことを、まずもってご報告いたします。

学ぶ力を身につけるために

今、文部科学省が提唱しているのは「アクティブ・ラーニング」という授業（学習）の進め方。教員による講義形式ではなく、学習者が進んで学ぶことを取り入れた授業や学習の方法を言います。しかし、これは今に始まったことではありません。これまでから石部中が取り組んできた問題解決学習や体験学習も、グループ学習、話し合い活動もその一つと言われているからです。

「自主・自立・進取の気構え」を持つ生徒を育てるためには、「アクティブ・ラーニング（本校では『生徒主体の授業づくり』と呼びます）」を推進することが欠かせません。ここで期待されるのが、昨年度から取り組んでいる「教科委員」や「学習委員」の活躍です。

15日には「学ぶ力向上全校集会」を開催し、各学級で「自分たちは何をしていくか」について話し合い（その模様が4月16日付けの中日新聞で紹介されました。裏面をご参照ください）、今日20日には1・2年生の学習委員を集め、「自分たちの学習の取組を向上させるために、自分たちの学級の授業や学習を見つめ直し、他の学級の姿に学び、自分たちの学級に広めていく」役割を担うことを確認しました。1時間の授業を受けていればよいというのではなく、しっかりとした「めあて」をもって一人ひとりが学習に臨んでもらいたいと願っています。

今年度、石部中学校は、生徒の力で生徒自身が伸びるよう全力投球していきます!!

高校の校長先生から

今日、甲西高校と石部高校の校長先生が立て続けに本校にお越しくださいました。その際おっしゃっていたことを紹介します。

まずは午前中にお見えになった甲西高校の校長先生から。「湖南市の中学校から本校にやってくる生徒は競争に慣れていないように思います。それでも、『この地域から世界に飛び出していくんだ』という強い意欲を持つ者は、大きく伸びます。甲西高校は一人ひとりの生徒を大切にしています。ぜひ地元の学校で大きく育ててほしいと思います。そのためにも、英語の力をしっかり身につけてきてください」

また、午後に訪ねてくださった石部高校の校長先生は「今春、『福祉健康コース』の初めての卒業生が出ましたが、求人の多かったこと。全員が希望したところに就職することができました。目的意識のある生徒、基礎的な学力のある生徒ほど希望が実現できます。また、朝食をきちんと食べてくるといった基本的な生活習慣も身につけておいてほしいです」とおっしゃっていました。

自分たちで伸びるあらわれ・・・生徒会活動

毎週水曜日は、代議員が「朝のあいさつ運動」を展開中。朝に気持ちのいいあいさつをかわしあうと、一日を爽やかにスタートすることができます。あいさつされるのを待つのではなく、自ら進んで声をかけていきたいものですね。また、登下校の様子を見守ってくださっている地域の方にもお礼の気持ちを込めてあいさつしていきましょう。

そして、いまだ余震が続いている熊本地震。被災されたみなさんは嘆き悲しみつつも前を向いて生きていこうという思いをお持ちのことと思います。そうした今、石中生徒会では募金活動を開始しました。被災地から遠く離れた自分たちができることには限りがあるでしょうが、「何かできることはないだろうか」と考え、話し合っ、それをすぐに行動に移してくれたことを誇りに思います。額の多少が問題ではありませんし、そもそも募金という方法にこだわるわけではありません。でも、何かできることはないかな。考えたことを行動に移してみましょう。

明日から3年生は修学旅行。「事前に学んだことを実際に確かめ、仲間とともにいい旅行にしていこう」と呼びかけました。3年生が修学旅行から戻ると、ゴールデンウィークが間近です。新たな意欲に燃えてスタートした新学期。ようやくペースをつかみかけてきた時期だけに、リズムを崩さぬように、また、体調をこわさぬように気をつけましょう。ご家庭でも見守り・ご指導をよろしくお願いします。
(校長)

ともに学び合う力高めよう

湖南・石部中 各学級の目標など決定



取り組みを振り返る昨年度の学習委員＝湖南市の石部中で

湖南省の石部中で十五日、学ぶ力の向上に焦点を当てた全校集会があり、全校生徒約三百四十人が参加した。

「全員が授業の目当てを理解していた。どんな自分の意見を出していた」と紹介。昨年全校集会では、白川中を視察した教員が「全員が授業の目当てを理解していた。どんな自分の意見を出していた」と紹介。昨年

よつとする取り組みの一環。集会後、各学級で本年度の目標などを話し合った。岐阜県白川町の白川中の実践を参考に活動で、昨年度から始めた。各学級で男女各一人の学習委員を決め、学習委員はほかの学級の授業の様子を見学。学習態度やグループ学習のやり方など参考にしてできる点を自らの学級でも実践する。全校集会では、白川中を視察した教員が「全員が授業の目当てを理解していた。どんな自分の意見を出していた」と紹介。昨年

平成28年4月16日付け・中日新聞

度の学習委員の代表四人は「私語がなく落ち着いた学習態度を目標にした」「目標についてもっと継続的に呼び掛けるべきだった」など振り返った。集会後、三年のある学級はスローガンを「積極的」と決めた。話し合いの中で、チャームと同時に勉強を始める「ベル発」を徹底することやグループ学習などで全員が意見を出すことを確認した。担任は「話し合いがしつかりできていた。これを全ての授業で」と講評した。小野田文雄校長は